



消防学校 ニュース



平成30年2月26日発行

消防職員専科教育

救急科第27期



1月9日に入校した第27期103名。
前半1月は座学中心、2月に入って後半から終盤は実習が多くなります。
その様子を紹介します。



“腸管脱出”に対する
創傷被覆処置



“シミュレーション実習”
(JPTEC)



腹部穿通性異物
に対する処置



〈重傷外傷(高リスク受傷機転)〉

車から放り出された傷病者…。
～事故の状況把握、初期評価
～全身観察、緊急処置
そして“全身固定”
と一連の現場活動を隊員3名で連携
実施。

Preventable Trauma Death
(防ぎ得た外傷死)





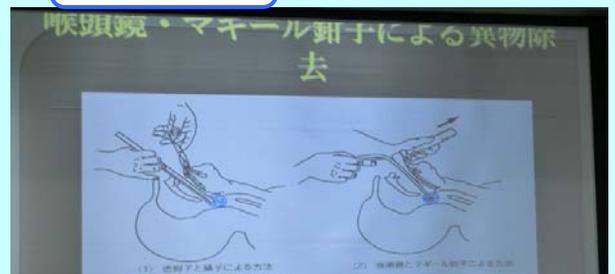
“救出活動・各種搬送”



“産婦人科”
新生児への対応

病院への収容要請

“異物除去”



“酸素吸入、
心肺蘇生”等

全身固定



救急科第 27 期生たちは、病院での実習や各所属での救急車同乗実習なども経て、2月 28 日に修了式を迎えます。高度で専門的な知識・技術を修得し、救急科課程を修了することにより、「救急隊員」としての要件を満たすことになります。
社会情勢の変化等により多様となる救急の現場において、状況に応じた様々な判断、適切かつ迅速な対応・処置が求められる中、今後も更なるスキルアップを図り、多くの救急救命士が輩出することを期待します。

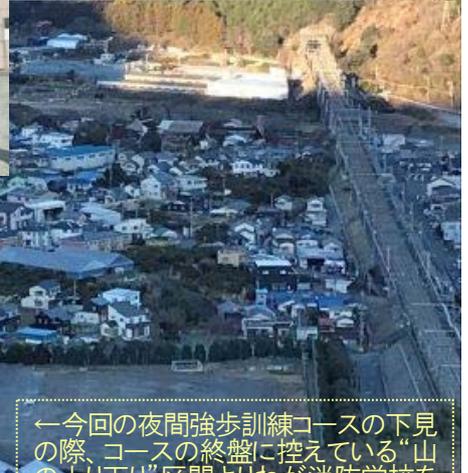
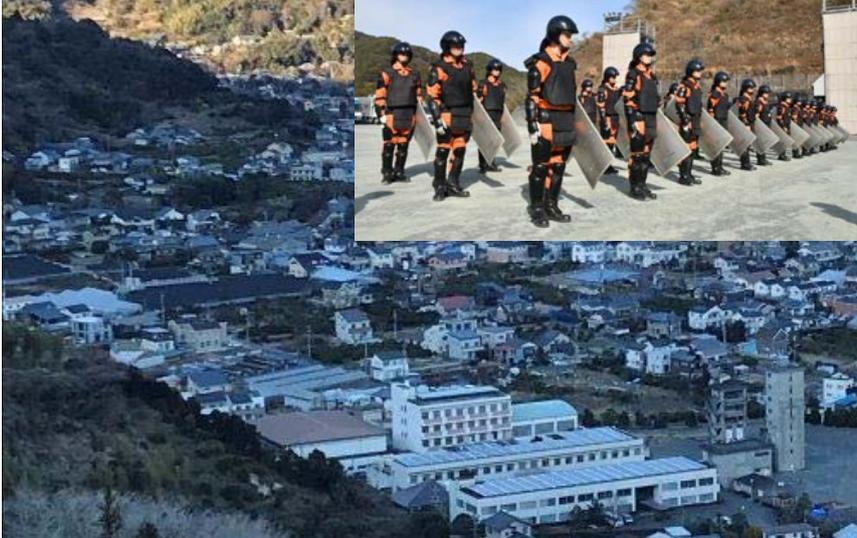
初任科第88期

第2回野外訓練

初任科の約6か月の教育訓練における終盤の大きなヤマ、「第2回野外訓練」が2月15日(木)から16日(金)にかけて実施された。
 この訓練は、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、長時間にわたる災害対応に必要となる強靱な体力・精神力を養成し、消防部隊活動における協力・連携、団結力の必要性を再認識することを目的とする。



第1部：機動隊警備訓練体験



15日昼間は、静岡県警察本部機動隊において警備訓練体験等を実施。機動隊の協力の下で訓練を行うのは初めての試みである。
 夜間は、警察機動隊を出発地点として、消防学校までの約40kmの行程を約20kgの装備を背負って歩き抜く訓練(19時出発⇒7時過ぎ到着予定)で、今回のコースでの訓練実施も初めての事。

←今回の夜間強歩訓練コースの下見の際、コースの終盤に控えている“山の上下り”区間よりわが消防学校を望んだ。
 35km以上を歩いてきた初任科生たちを待っている最後の難コース。
 厳しい状況の中で、彼らにこの景色はどう映るであろうか。

第2部：夜間強歩訓練



初任科第88期生39名のうち、体調不良の1名を除く38名がチャレンジ!!

2月15日(木) 午前6時30分 起床
点呼、早朝体育を経て7時30分 朝食



いざ！機動隊へ！！

9時40分 学校での出発式

9時50分 バスにて学校出発



約50分後、警察機動隊(静岡市駿河区丸子)に到着
整列、行進で施設内へ…

静岡県警察機動隊



機動隊の災害対応に係る講義や施設・車両・装備等の見学を通じて、初任科生たちは機動隊に対する認識を新たにした。



それなりの格好と装備で



警備訓練 体験～！！



機動隊での **昼食、夕食** は初任科生自らが携帯した **非常食** を食するのみ。実際の活動時を想定したシナリオだ。





18時50分、機動隊敷地内において「出発式」を行う。いよいよ40km先の学校に向けて「夜間強歩訓練」がスタートする。

訓練全行程（歩行路） [40.47 km]



機動隊の皆さんが
拍手で見送ってくれる中

出発！！



19:00

19:15

20:50

上記行程のとおり、機動隊を出発し、消防学校に到着するまでの間、11のポイントを經由し、各ポイント到着時に休息・休憩の時間を確保する。

【主なポイントの到着予定時間】

- | | |
|---------------------|--------|
| ③「大浜公園」(駿河区西島) | 21時45分 |
| ⑤「東照宮入口」(駿河区根古谷) | 23時35分 |
| ⑦「清水マリンパーク」(清水区港町) | 2時25分 |
| ⑨「新興津緑地公園」(清水区興津本町) | 4時25分 |
| ★「静岡県消防学校」(清水区谷津町) | 7時10分 |

21:30

22:55



23:48

⑤の「久能山東照宮の入口」に計画より若干遅れて到着。出発から約5時間が経過。約19kmの地点。そして日が替わる。

Hot (ホッと) 一息

⑥忠霊塔公園に到着。
 ここでは、教官からの差入れであるカップ麺が配られた。もちろん熱いお湯の準備もある。
 寒さと足の痛みに耐え、(小)腹もすいた初任科生たちにとって、そのありがたみはいかほどだったであろうか。
 ようやく行程の半分をクリアした。だが、まだ先は長い。



0:56



0:30



1:10



寒中暖あり!?



約1時間弱の休憩を取り、ゴール目指して再び歩き出す訓練隊(⑦清水マリパークの付近)



2:26



2:39



2:56

実は…
 行程中、⑩マイクロ山頂、⑪2.5km山頂の学校到着直前の2ポイントは、初任科生たちの持つ資料にはなく、代わりに興津川沿いの平坦な場所が記載されていた。

「活動地点となる消防学校への道路が寸断された」という想定で、急遽「迂回ルートを行く」と、当日⑨新興津緑地公園で初任科生たちに伝えられた。しかし、迂回ルート(⑩・⑪)は山登りのかなり険しい道のりだ。初任科生たちの表情も険しくなる。山頂で御来光を見る余裕はあるだろうか…。

訓練の終盤戦 最後の難関
 消防学校を目の前にしながら
 午前5時～6時台の厳しい戦い
 次第に夜は明けていく…



朝が来た。空の色が見る見るうちに変わっていく…。

2月16日(金)、午前7時10分、
訓練隊が最後の難関をクリアし、消防学校
に帰ってきた。

途中、隊列から遅れそうになる者は何人か
いたが、リタイアせず最後まで頑張り、38名全
員が無事完歩した。

最後は、計画通りの時刻での帰校であった。



ゴール!!!



同じ寮生活を送る専科教育『救急科』第27期の先輩方がお出迎え!!



睡魔、寒さ、疲労と
闘い、よく完歩した!
学生の頑張り、
教官の指導、
そして学校職員の
バックアップに
感謝!

最後の山場に入る際
“もう無理だ”という
表情の学生が多くいた。
しかし、こうして
全員が完歩できた。
限界を自分で決めるな!

消防学校



初任科生たち、頑張りました。副校長、教官たち、よくやってくれました。(ご褒美にイチゴ!)

編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1

☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp